

「高校訪問」

本単元で育成する資質・能力

情報活用能力、表現力、将来設計能力

- 1 日 時 令和元年11月13日（水） 5時間目
- 2 学年・学級 1年A組（男子16人 女子9人 計25人）
- 3 単元名 「高校訪問」
- 4 本単元を指導するにあたって

本単元では、3年後の自分像をイメージし、高等学校について情報を収集し、自分の将来像を発表し合うことを目的としている。

本学年の生徒は、1学期に中国新聞社の記者を招聘しての『新聞記者に学ぶ』や、塩町中学校区出身地に出向いて清掃等を行うことで地域に貢献する『地域ボランティア』、1学期から2学期にかけて、三次や塩町をもっと魅力的な町にしていくためにはどうすればいいのか、良さを再発見したり課題を見つけたりしながら、その解決のためにできることを仲間とともに考える『グッドタウン三次』を実施してきた。グループメンバーやお世話になった方々との触れ合いや、プレゼンのための情報収集や必要な情報の取捨選択、聴衆に正確に伝えるための方法等、様々な力を身に付けてきた。各教科や総合的な学習の時間で身に付けさせた9能力を新たに身に付けさせたり、ブラッシュアップさせたりして、社会で通用する人材を育成する。

9月に行った『学習に関わるアンケート』から、本学級の生徒は、「授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。【人間関係形成能力】」、「普段の生活や授業の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。【既習事項の活用】」、「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。【総合的な学習の時間】」でこの3項目それぞれ91.7%、91.7%、91.7%の生徒が肯定的に捉えている。しかし、「授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。【表現力】」で54.2%、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。【表現力】」で62.5%と他の項目より低い数値であり、表現力に課題があることが分かる。

本校の研究テーマは『「主体的に学ぶ生徒を育成する授業づくり」～『学習の振り返り』を通して学びを深める生徒の育成～』である。本時の中で、振り返る場面を3回設定している。一度目の導入時では、高等学校訪問当日の様子をスライドショーで見させて想起させる。二度目の展開時では、個人で作成したレポートをグループ内で交流し、自分が訪問しなかった高等学校の情報を得て、自分自身に無かった視点を持たせる。三度目の終末時では、本時の成果と課題を記述させる。

生徒は高等学校を訪問する前に、入試のシステムや広島県にある高等学校について知り、各高等学校の学科について理解する。そして、実際に訪問して、授業や校舎内を参観することで、新たな発見をし、自分たちの進路実現のためにどのようにしていかなければならないかを学ぶ。訪問後は、個人でレポートを作成し、塩中タイムを通して、この訪問で身に付いた能力を確認する。グループでは、個人で作成したレポートを発表し合ったり、訪問した高等学校のグループで、そのメンバーとキャッチフレーズを作成して、他の生徒にその高等学校についての説明をする。

この単元を通して、今後の自分にどう活かしていきたいのかを考えることで、2学年の学習へとつながっていくものである。

5 単元の目標

○上級学校についての疑問を追及する活動を通し、自分の将来の姿や夢を考えることにより、現在の自分自身を振り返り、今、何が必要なのか考えることができる。

6 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めている。(重点◎)

塩町中学校区9能力					
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)	◎	④判断力 (自分で決める力)		⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)	
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)	○	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)	
③ 思考力 (考える力)		⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)	◎	⑨生活力 (学んだ事を生かす力)	

①情報活用能力・・・地域の高等学校について、基本的な情報を収集し、自分の進路選択に生かすことができる。

⑤表現力・・・・・・収集した情報を整理し、わかりやすく伝えることができる。

⑥将来設計能力・・・地域の高等学校について調べたり、仲間からの情報を聞いたりするなどして、自分の将来像について思いをはせようとしている。

評価の 観点	ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 学びに向かう力, 人間性等
評価 規 準	①中学校卒業後の進路の選択肢について理解している。 ②上級学校への入学までの道筋や各学校の特色について知識がある。	①地域の高校学校について、基本的な情報を収集し、自分の進路選択に生かすことができる。【情報活用能力】 ②収集した情報を整理し、わかりやすく伝えることができる。【表現力】	①地域の高校について調べたり、仲間からの情報を聞いたりするなどして、自分の将来像について思いをはせようとしている。【将来設計能力】

7 指導と評価の計画 (全8時間)

次 (時数)	学習内容 (評価の種類: 評価者)	評価規準 【資質・能力】(評価方法)
一	○本単元のめあてと評価の視点を確認する。	

	評価指標（単元末自己評価）			
	特に付けたい力	A	B	C
	情報活用能力	Bができている。また、さらに深く知るために、高校訪問時に適切な質問をしたり、気付きを書きとめたりしてその特徴をつかむことができている。	地域の高校について、パンフレットやインターネット、先生方への質問等を利用し、必要な情報を入手することができる。	Bに達しない
	将来設計能力	Bができる。また、進路実現のために今何をどのようにすべきかを具体的に考えようとしている。	地域の高校について知り、自分の中学卒業後の進路について具体的に考えようとしている。	Bに達しない
	課題の設定 情報の収集 ○広島県内の高等学校に関する情報を参考に、高等学校の基礎知識を得たり、入試制度について理解したりする。 (2)			ア①、ア② (行動観察，ワークシート)
二	情報の収集 ○各高等学校で、授業を参観したり、授業を体験したり、学校説明を聞いたりする。 (3)			イ①【情報活用能力】 (行動観察)
三	整理・分析 表現 まとめ・創造 ○訪問した高等学校について、まとめポスターを作成する。 (1)			イ②【表現力】 ウ①【将来設計能力】 (行動観察，作品)
四	振り返り まとめ・創造 ○各訪問校ずつにグループを作り、その学校の特色を生かしたキャッチフレーズを作る。 (1)			イ①【情報活用能力】 (活動の観察) イ②【表現力】 (レポート) ウ①【将来設計能力】 (ワークシート)
	○塩中タイムで、塩中9能力の内どの力が伸びたのか、自らの成長を見つめ、学びを振り返る。(総括的評価：自己評価) (1)			イ①【情報活用能力】 イ②【表現力】 ウ①【将来設計能力】 (発表)

8 本時の展開

（１）本時の目標

高等学校のキャッチフレーズとその理由を考え、他のグループに正確に伝えることができる。

(2) 評価規準

イ①地域の高校学校について、基本的な情報を収集し、自分の進路選択に生かすことができる。

【情報活用能力】

イ②収集した情報を整理し、わかりやすく伝えることができる。【表現力】

ウ①地域の高校について調べたり、仲間からの情報を聞いたりするなどして、自分の将来像について思いをはせようとしている。【将来設計能力】

(3) 準備物

ワークシート、電子黒板、ホワイトボード、マーカーペン、ホワイトボード用イレイサー

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 【資質・能力】 (評価方法)
導入	○高校訪問の体験等を思い出す。	○3つの高校を訪問させてもらいましたが、自分が訪問した高校に関しては画像を見て振り返りを、自分が訪問していない高校に関してはどんなところか見てみましょう。 ●高校訪問の様子をまとめたスライドショーを電子黒板に映し想起させる。 振り返り① スライドショーを見て、当日の様子を想起させる ●個人で作成したポスターを見せ、情報量の多さを実感させる。	
展開	○本時のめあてを知る。 ○作成したレポートを交流する。	○今日のめあてを確認しよう。 高等学校のキャッチフレーズとその理由を考え、訪問高校をアピールしよう ●キャッチフレーズの意味を説明する。 ○たくさんの情報から理解するには時間がかかります。その高校がどんな学校かイメージがわくようなキャッチフレーズを作りましょう。 ○班の隊形になって、自分が作成したレポートを発表しよう。発表時間は1分で、聴衆者は聞きながらメモを取り、質問を考えよう。質問や回答する時間を4分取ります。 ●班隊形(4～5人)になり、自分が作成したレポートを見せながら、班員に訪問した学校について説明させる。 ●発表者は、ただレポートの文面を読むだけではなく、アドリブを交えながら詳しく説明するよう指示する。 ●発表を聞いている生徒がメモを取る際に、箇条書きやキーワードを書き取るよう指示する。 振り返り② 作成したレポートをグループで交流させる	収集した情報を整理し、わかりやすく伝えることができる。 【表現力】 (レポート) 仲間からの情報を聞いて、自分の将来像について思いをはせようとしている。 【将来設計

	○訪問した高等学校のキャッチフレーズを作成する。 ○意見交流をする。	○訪問した高等学校ごとにグループ（1グループ：4～5人，1校につき2グループ）になり，その学校のキャッチフレーズとその理由を考えよう。意見交流後にキャッチフレーズをホワイトボードに書き，後ほど発表してもらいます。個人思考を3分，グループ協議を10分取ります。 ●司会係・記録係・発表者を決めさせ，意見交流が円滑に進むようにする。 ●協議が頓挫しているグループには，その高等学校の特色や長所を振り返らせ，それらを基にキャッチフレーズを作るよう助言する。 ●理由を論理立てて説明できるよう，事前に伝えておく。 ○クラス全体の前で，グループで作成したキャッチフレーズの披露と，その理由を発表してもらいます。発表者は，聞いている人に正確に伝わるよう，聞き取りやすい声量，スピードで発表しよう。聞いている人は，発表者をしっかり見て，真剣に発表を聞きましよう。 ●声が小さかったり，スピードが速かったりする生徒には，もう一度発表するよう促す。 ●聴衆は，発表者の発言を真剣に聞き，頷いたり反応したりするよう指示する。	能力】 （活動の観察）
--	--	---	------------------------

まとめ	○振り返りをする。	○班や訪問グループでの意見交流を通じて、『初めて知ったこと』と『自分の進路選択に役立ったこと』をワークシートの振り返り欄に記述しよう。 ●授業の前と後の変容が分かるように書くよう指示する。 ●全グループ発表後、赤マーカーペンを用いて、各ホワイトボードに補足を書き込む。 ☆他のグループが発表した〇〇高校について、今まで全く知らなかったけど、△△科について詳しく知り、そこで学んでみたいと思いました。 ☆同じ高校を訪問した□□さんのレポート発表を聞いて、新たな視点を見つけました。そのことについて、詳しく調べてみようと思いました。 ☆高校訪問や今日の授業を通じて、今までよりもさらに〇〇高校に進学したいと思いました。進学するために、今の学習方法を見直して、さらなる学力向上に努めます。 振り返り③ 本時の内容について、『初めて知ったこと』、『自分の進路選択に役立ったこと』をワークシートに記述させる	地域の高等学校について、基本的な情報を収集し、自分の進路選択に生かすことができる。 【情報活用能力】 (ワークシート)
------------	------------------	--	---